

リニア中央新幹線の 三重県駅が設置されます!

問い合わせ 交通政策課 ☎ 229-3180 FAX 229-3336

提供：J R 東海

昭和39(1964)年に開業した東海道新幹線は、日本経済や社会の発展に大きく貢献しました。そして、開業から半世紀以上が経過した今、現在の新幹線の約2倍のスピード「時速500km」を誇るリニア中央新幹線が実現に向けて動き出しています。

リニア中央新幹線が全線開業すれば、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が約1時間で結ばれ、その効果は単なる経済波及効果に留まらず、国土の構造を変え、日本の国際競争力を強化し、私たちのライフスタイルをも変えるきっかけとなることが期待されています。

リニア中央新幹線のルートと開業時期

平成26(2014)年10月、東海旅客鉄道(JR東海)による東京・名古屋間の工事実施計画が認可され、リニア中央新幹線の建設が開始されました。

令和9(2027)年に東京・名古屋間が先行開業する予定で、名古屋・大阪間は最短で令和19(2037)年の開業予定です。

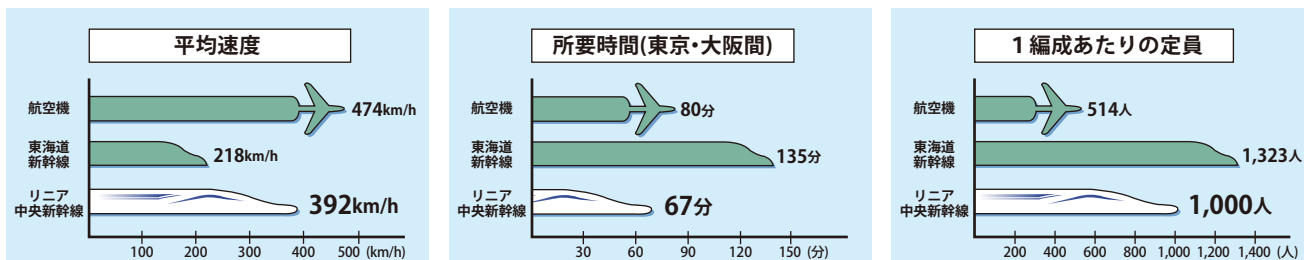


リニア中央新幹線ルート概念図(右図)

出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟会資料を津市が一部加工
 ※1 東京都・名古屋市の路線と駅位置は、JR東海「中央新幹線(品川・名古屋間)工事実施計画(その1)(平成26年10月17日認可)」を基に作成。
 ※2 名古屋市・大阪市間のルート範囲と主要な経過地は、交通政策審議会中央新幹線小委員会答申(平成23年5月)参考資料を基に作成。三重県、奈良県、大阪市の各府県に設置される駅の位置は未定。

リニア中央新幹線のスピードと輸送力

リニア中央新幹線は、航空機並みのスピードと航空機を大幅に超える、約1,000人を運ぶ輸送能力を併せ持った画期的な輸送機関です。航空機のような搭乗手続時間は必要ありませんので、実質的なスピードは航空機よりも速いと言えます。



●航空機はボーイング777-300、東海道新幹線はのぞみで算出
 ●平均速度…出典：リニア中央新幹線は、交通政策審議会中央新幹線小委員会答申(平成23年5月)参考資料に基づく所要時間67分と路線の長さ438kmから算出。航空機は、羽田空港・伊丹空港の所要時間65分(時刻表より)と区間距離514km(「航空輸送統計年報」より)から算出。東海道新幹線は、東京・新大阪間の所要時間142分(時刻表より)と距離515km(JR東海による)から算出。
 ●所要時間(東京・大阪間)…出典：リニア中央新幹線は、交通政策審議会中央新幹線小委員会答申(平成23年5月)参考資料に基づく所要時間。航空機は、羽田空港・伊丹空港の所要時間65分(時刻表より)に搭乗手続き15分を合わせて算出。東海道新幹線は、時刻表より算出(品川・新大阪間)。
 ●1編成あたりの定員…出典：リニア中央新幹線・東海道新幹線は、JR東海による。